

2026年2月8日
2月第二主日礼拝式



67 きよい手を上げ

きよい手を上げ 賛美にみたされ

感謝のところで 主をたたえよ

主をたたえよ 主をたたえよ

感謝のところで 主をたたえよ

92 さあ、主をほめよ

1. さあ 主をほめよ 主の しもべらよ

日ごとに 仕えるものよ

聖所で 手をあげ

さあ 主をほめよ 主をほめよ

2. さあ 主をほめよ 主の しもべらよ

夜ごとに 仕えるものよ

聖所で 手をあげ

さあ 主をほめよ 主をほめよ

新聖歌297番 「神はわが力」

- 1 神はわが力 わが高きやぐら
苦しめるときの 近き助けなり
- 2 たとい地は変わり 山は海原(うなばら)の
中にうつるとも われいかで恐れん
- 3 神のみやこには 静かに流るる
きよき河(かわ)ありて み民をうるおす
- 4 みことばの水は 疲れをいやして
新たなるいのち 与えて尽きせじ 【次】

新聖歌297番 「神はわが力」

- 5 神の御許辺(みもとべ)は
常に安(やす)らけく
苦しみも悩みも 消えて跡(あと)ぞなき
アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌265番 「世人(よびと)の咎(とが)のために」

1 世人の咎のために 死に給いし主イエスを
仰(あお)ぎし時 この身は 救われたり

* 賛美せよ 賛美せよ われ救われたり
賛美せよ 賛美せよ われ救われたり

2 われは長きとしつき なし続けし全ての
悪(あ)しき罪の行い あらためたり 【*】

3 今はイエスを君とし つこうる身にしあれば
罪はよし誘うとも 揺るぎはせじ 【*】

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお 御神(みかみ)に

ときわに 絶(た)えせず

御栄(みさか)え あれ

御栄(みさか)え あれ

アーメン